

# はじめに

## ○ 11月・12月の三者懇談会に向けて

### 「予備懇談会（11月7日(木)～13日(水)）」

先日行った第3回進路希望調査の内容を参考にして、今後の進路の方向について話し合いをします。就職ならば、どのような仕事につき、どのようにして就職先を確保するか、進学ならば、どこの学校に進学したいのかなど、より具体的な名前を挙げての話し合いを行います。そして、お子様の学校生活の様子や学力などを見ながら、実現の可能性を検討し、今後の動きについて決定します。

### 「本懇談会（12月9日(月)～13日(金)）」

予備懇談会で話された内容を受けて、ご家庭で進路について十分に話し合っただき、必要であれば高等学校の学校見学会や入試説明会にも参加していただいた上で、進路の最終決定の話し合いの場になります。場合によっては、複数回の懇談が必要になるかもしれません。また、この懇談後の進路変更は、出願書類の準備等、事務的な手続きに支障が出ますのでご遠慮ください。変更することが無いように、あらかじめご家庭で十分に話し合いを行い、懇談に臨んでいただきますようお願いいたします。

## ○ 進路を考える上での注意事項

次の事項に留意して、お子様の進路について話し合いを行ってください。

- ① 性格・適性・能力を考えて、生涯を見通した進路選択を行う。
- ② 希望・意欲・関心がもてる進路選択を行う。
- ③ 経済的な見通しを立てた進路選択を行う。
- ④ 必ず進路先に足を運び、正しい情報を入手した上で進路選択を行う。  
(他人の噂や過去の情報に惑わされない。自分に合うかどうかは自分の目で確認して下さい。)
- ⑤ 進路実現のために、勉強だけでなく安定した日常生活・学校生活を心がける。  
(学校や家庭での環境づくり、進路を実現しようと前向きに取り組む姿勢が大切。)

# § 1 公立高等学校の入試について

## ○公立高等学校の制度について

設置者	時間帯	科・コース	制度
国立	全日制	普通科 普通科（コース）	学年制
県立	多部制	総合学科	単位制
市立	定時制	専門学科 特色ある専門学科	←工業科・商業科などの職業科 ←それ以外の学科
	通信制		

全ての公立高等学校は、これらの組み合わせです。

例：兵庫県立伊丹	高等学校	普通科	(全日制学年制)	
兵庫県立尼崎稲園	高等学校	普通科	(全日制単位制)	
伊丹市立伊丹	高等学校	普通科 G C コース	(全日制学年制)	
兵庫県立伊丹北	高等学校	総合学科	(全日制単位制)	
尼崎市立尼崎双星	高等学校	商業学科	(全日制学年制)	
尼崎市立尼崎	高等学校	体育科	(全日制学年制)	
兵庫県立神崎工業	高等学校	機械科	(定時制学年制)	
兵庫県立阪神昆陽	高等学校	普通科	(多部制単位制)	などなど

## 定員に対する募集する割合

	2月17日(月) 推薦・特色選抜入試	3月12日(木) 学力検査
普通科	特色選抜 40名程度	残人数
普通科(単位制)	推薦入試 50%	複数志願 50%
総合学科		
普通科(コース)	推薦入試 100%	実施しない
専門学科(職業に関する学科) 工業科 商業科 農業科など	推薦入試 50%	単独選抜 50%
専門学科(教科に関する学科) 体育科 音楽科 国際科など	推薦入試 100%	実施しない
多部制	I期試験 1部2部 60% 3部 70%	II期試験 1部2部 20% 3部 10%
定時制	実施しない	単独選抜 100%

多部制の残り20%は、過年度生の枠

# 1. 複数志願選抜と特色選抜

## 第2学区全日制（複数志願選抜対象校）

普通科〔学年制〕	伊丹、伊丹西、市立伊丹、川西緑台、川西明峰、川西北陵、猪名川、 尼崎小田、尼崎、尼崎北、尼崎西、鳴尾、西宮北、西宮甲山、西宮南、 宝塚、宝塚東、宝塚北、宝塚西、北摂三田、三田西陵、篠山鳳鳴、 柏原、市立尼崎、市立尼崎双星、市立西宮、市立西宮東
普通科〔単位制〕	尼崎稲園、西宮、三田祥雲館
総合学科	伊丹北、武庫荘総合、西宮今津、有馬
	計34校

### （出願資格）

平成31年3月に中学校を卒業する見込みがあり、全日制を志願する者については、志願先高等学校の通学区域内に保護者（親権がある者、いない場合は後見人）と共に居住している者。

### （1）複数志願選抜制度

対象校：第2学区の全日制普通科・普通科単位制・総合学科

出願：2月26日（水）～2月28日（金）

志願変更：3月2日（月）～3月4日（水）

学力検査：3月12日（木）

合格発表：3月19日（木）

学力検査：国語、数学、社会、理科、英語の順に、各50分100点で計500点

内申点：5科（国数社理英）の5段合計  $\times 4$

+ 4科（音美体技/家）の5段合計  $\times 7.5 = 250$ 点

**個人の素点 = (内申点) + (学力検査/2) = 500点満点**

### （出願の仕方）

① 第1志望のみ

② 第1志望 + 第2志望のみ \* 「その他校」希望は以前に廃止

①・②いずれの場合でも、**第1志望校**の選考時のみ、**加算点20点**が加えられる。

### （注意事項）

○公立高校に合格した場合、第2志望校であっても必ず入学しなければいけない。

例、合格した公立高校を辞退することができない。もちろん、私立の併願校への入学は認められない。

○複数志願対象校間での志願変更は、第2志望のみ変更できる。

例、第1志望を「県立伊丹」→「市立伊丹」という変更はできない。

第2志望の追加や削除、変更は可能である。

○複数志願対象校から複数志願対象校以外への志願変更は、可能である。

例、「第1志望 県立伊丹西（普通科）」→「県立尼崎工業（機械科）」

○同一志願校内の複数志願実施学科以外から複数志願実施学科への志願変更はできる。第1志望加算点（20点）は適用される。この場合、第2志望校を志願することはできない。

例、「市立伊丹（商業）」→「第1志望 市立伊丹（普通科） 第2志望 なし」の場合など

○公立高等学校は、各高等学校出願者の素点順に募集定員数までを合格とする。つまり、各高等学校に出願する生徒の学力や人数により、合格の基準点は大きく変動する。

## (2) 特色選抜制度

対象校：第2学区の全日制普通科 (19校)

出願：2月4日(火)～2月6日(木)

面接・実技検査：2月17日(月)

合格発表：2月22日(土)

(出願資格)

前述の条件に加え、志望する学校を第1志望とし、当該高等学校の特色ある教育内容を理解し、そこで学習する強い意欲を持っている者。かつ、当該高等学校長がその教育内容に応じて定める要件を満たす者。

※受検者は、出願時に自己推薦書(A4両面)を作成し提出する。(参考資料2)

(募集定員) 各学校の募集定員の20%以内で最大40名。(11月末に発表予定)

(選抜方法) 各高等学校にて面接を実施する。また、必要に応じて、実技検査、小論文(作文)を行い、調査書の内容と合わせて合否を判断する。

### 特色選抜実施予定校の概要(伊丹市・近隣市)

特色類型実施校は、コースを持たない普通科全日制学年制の高等学校です。

市立伊丹は、GCコースがあるため、特色選抜を実施しません。

川西緑台高校は、総合理数コースがあるため、特色選抜を実施しません。

実施高等学校名	類型と特色
県立伊丹 高等学校 (昨年度 定員40名)	「グローバル リーダーズ イン サイエンス 類型」 世界に貢献する地元企業と連携し、グローバルな視点からの体験教育を行うとともに、英語による表現力を身につけ、地球規模で考えながら地域に根付いた活動ができる自然科学分野のリーダーを育成する。
県立伊丹西 高等学校 (昨年度 定員28名)	「総合ヒューマン類型」 看護・医療・保育・福祉の分野に興味・関心を持つ生徒を対象に、医療・福祉施設訪問や保育所実習などの体験学習と、大学教授等の専門家による講義などを通して、将来、社会貢献できる生徒の育成を図る。
県立川西明峰 高等学校 (昨年度 定員32名)	「グローバル キャリア類型」 英語の運用能力及び情報機器を用いたコミュニケーション能力を高め、国際社会に貢献できる人材を育成し、大学等での学びや資格取得をめざすなど、グローバルマインドを持ったキャリア形成を図る。
県立川西北陵 高等学校 (昨年度 定員40名)	「探求と表現類型」 様々な探求活動や体験活動を通して、科学技術や国際社会に関するものの見方や考え方、コミュニケーション能力や自己表現力、問題解決能力を高め、科学分野や国際社会で活躍できる人材を育成する。
県立尼崎北 高等学校 (昨年度 定員40名)	「環境類型」 「地球・地域とつながる尼北」をスローガンに、人と自然や地域社会について学ぶとともに、環境について活動している団体などとの交流を通して、将来リーダーとして貢献できる人材を育成する。
市立尼崎 高等学校 (昨年度 定員36名)	「国際総合類型」 「オーセンティックイングリッシュ」など特色ある科目により英語力の向上を図り、さらに「数学探究」「探求理科」などの選択科目により、科学的な思考力・想像力を養う。

\*他に13校あり

## 旧伊丹学区 公立高等学校(普通科)の定員

県立伊丹	高等学校	・・・	280名
県立伊丹西	高等学校	・・・	280名
市立伊丹	高等学校	・・・	200名 (商・G Cを除く)
県立川西緑台	高等学校	・・・	240名
県立川西北陵	高等学校	・・・	280名
県立川西明峰	高等学校	・・・	280名
県立猪名川	高等学校	・・・	200名

※ 先日、兵庫県公立高校の募集定員が発表されました。全日制定員は、兵庫県全体では卒業生の減少にともなって520名減となりましたが、第2学区全体は変更ありませんでした。

### 兵庫県全体の開門率(全日制高校の定員/今年度卒業予定者数)

$$\begin{array}{l} \text{全日制高校の定員} \cdots 31,360 \text{人} \\ \text{今年度卒業予定者} \cdots 44,825 \text{人} \end{array} \quad \frac{31,360}{44,825} = 69.9\%$$

西中学校の今年の卒業予定者数は179名なので、そのうち全日制公立高等学校の入学人数は単純に計算すると119人程度になります。しかし、希望の仕方や偏りによって、また、試験当日の体調などによって、結果に大きなちがいが現れることになります。第2志望校でもかなりの影響が考えられます。第1志望校の加算点(+20点)を有効に使うこと、合格したときに納得して進学できる第2志望校を慎重に検討することが必要です。

## 2. 推薦入試を実施する学科・コース

(出願資格・推薦基準)

当該学科を第1希志望とし、次の条件を満たし、中学校長が推薦する者

- ① 当該学科を志望する動機・理由が明確かつ適切である。
- ② 当該学科に対する適性及び興味・関心を有する。

(選抜方法) 面接、小論文、調査書、実技検査、適性検査(ペーパーテスト、リスニング等)

※ 学校によって異なる。受検者は出願時に面接調査票を提出する。(参考資料3)

### (1) 専門学科・・・全県学区、定員の50%を推薦(残り50%は一般)

- |   |    |     |  |
|---|----|-----|--|
| ① | 農業 | ・・・ | 県立有馬、県立農業、 <u>県立篠山東雲</u> など                                  |
| ② | 水産 | ・・・ | 県立香住   |
| ③ | 工業 | ・・・ | 県立尼崎工業、 <u>市立尼崎双星</u> 、神戸市立科学技術、<br>県立兵庫工業、 <u>県立篠山産業</u> など |
| ④ | 商業 | ・・・ | <u>市立伊丹</u> 、 <u>市立尼崎双星</u> など                               |
| ⑤ | 家庭 | ・・・ | 県立社、県立西脇、県立小野工業、県立佐用、県立山崎 など                                 |

\_\_\_\_\_ は第2学区

**(2) 特色ある専門学科・・・全県学区、定員の100%を推薦**

○ 総合福祉科・・・県立龍野北	○ サイエンス・リサーチ・・・県立尼崎小田
○ 福祉科・・・県立日高	○ グローバル・サイエンス・・・市立西宮
○ 福祉探求科・・・県立武庫荘総合	○ 科学探究科・・・県立小野(新設)
○ 電子機械科・・・県立姫路工業	○ 国際科・・・県立国際
○ 情報処理科・・・神戸市立神港	○ 国際人間科・・・県立明石西
○ 情報科学科・・・県立姫路商業	○ 国際文化科・・・姫路市立琴丘
○ 情報科・・・県立神戸商業	○ 美術科・・・県立明石
○ 会計科・・・県立神戸商業	○ 音楽科・・・県立西宮
○ 国際会計科・・・明石市立明石商業	○ 環境防災・・・県立舞子
○ 看護科・・・県立龍野北、県立日高	○ 総合科学・・・県立大学附属
○ 体育科・・・県立社、市立尼崎	○ グローバルサイエンス・・・県立宝塚北
○ 演劇科・・・県立宝塚北	○ 国際文化情報・・・県立鳴尾
○ 総合理学・・・県立神戸	○ 国際総合科・・・県立三木
○ 創造科学科・・・県立兵庫	

**(3) 普通科・単位制・・・全県学区、定員の50%を推薦**

残り50%は第2学区で複数志願選抜 ○印が第2学区

○県立尼崎稲園、○県立西宮、○県立三田祥雲館、県立須磨北、県立芦屋、 県立加古川北、県立姫路東、県立飾磨工業、市立六甲アイランド など13校
---

**(4) 総合学科・・・全県、定員の50%(以内)を推薦(残り50%は一般)**

残り50%は第2学区で複数志願選抜 ○印が第2学区

○県立伊丹北、○県立武庫荘総合、○県立西宮今津、○県立有馬、県立神戸甲北、 県立須磨友が丘、県立太子、県立明石南、県立加古川南、県立三木東、県立香寺、 県立香寺、県立豊岡総合、県立和田山、県立淡路、市立須磨翔風 など21校
---

**(5) 普通科コース・・・第2学区内のみ受検可能**

定員の100%を推薦

伊丹市立伊丹(グローバル・コミュニケーション)、県立川西緑台(総合理数)、県立尼崎(教育と絆)、 県立宝塚西(国際教養)、市立西宮東(自然科学系・総合人間系) 県立柏原(知の探求)、県立篠山鳳鳴(総合科学) 7校8コース
--

\* 公立推薦 出願：2月4日(火)～2月6日(木)

面接・実技検査：2月17日(月)

合格発表：2月22日(土)

(注) 特色選抜と同じ

**(6) 高等専門学校・・・全国学区、定員の40%程度を推薦(残りは一般)**

神戸市立高専(機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学)

国立明石高専(機械工学・電気情報工学・都市システム工学・建築学) など

* 高専推薦 出願：〔神戸〕1月8日～10日 〔明石〕1月6日～10日 検査日：1月18日(土) ← 両校とも 合格発表：1月22日(水) ← 両校とも 日程については統一されていませんので、この2校以外は違う日程の可能性があります。
--

### 3. 学力検査による入学者選抜

- (1) 第2学区複数志願選抜・・・前述の通り
- (2) 普通科 単位制（第2学区では県立尼崎稲園、県立西宮、県立三田祥雲館）、  
総合学科（第2学区では県立伊丹北、県立武庫荘総合、県立西宮今津、県立有馬）  
でも複数志願選抜実施  
\*ただし、複数志願選抜で第1志望、第2志望ともに総合学科、もしくは、第1志望のみで総合学科に出願する場合、学力検査は複数志願選抜と同じ5教科（素点の換算方法も同じ）のうちの1教科を「音楽」「美術」「保体」「技家」のうちの1教科の実技に代替することができる。
- (3) 商業科  
① 募集定員から推薦入学による合格者を引いた人数による単独選抜  
② 通学区域は兵庫県下  
③ 学力検査は複数志願選抜と同じ5教科（素点の換算方法も同じ。）
- (4) 工業科  
① 募集定員から推薦入学による合格者を引いた人数による単独選抜  
② 通学区域は兵庫県下  
③ 主な工業高校  
・尼崎工業…機械科、電気科、電子科、建築科  
・尼崎双星…ものづくり機械科、電気情報科  
・神戸市立科学技術…機械工学科、電気情報工学科、都市工学科、科学工学科
- (5) 定時制  
通学区域は全国どこでも  
学力検査：公立全日制と教科・内容・時間ともに同じ  
<伊丹から通える定時制・多部制高等学校>  
尼崎市立琴ノ浦高等学校、県立有馬高等学校、県立神崎工業高等学校  
県立阪神昆陽高等学校(多部制)、県立西宮香風高等学校(多部制)
- (6) 単位制・多部制・・・1部：午前、2部：午後、3部：夜間  
I期試験とII期試験あり  
I期試験・・・面接と作文  
出願 2月4日(月)～2月6日(水)  
志願変更 2月7日(木)、2月8日(金)  
試験日 2月15日(金)  
発表 2月20日(水)  
※ (今年度より)志願変更は不可。  
II期試験A・・・国語+数学+(社会、理科、英語のうち1つ)と面接  
出願 2月22日(金)～2月26日(火)  
試験日 3月12日(火)  
発表 3月19日(火)  
※ (今年度より)志願変更可  
学力検査は、全日制・定時制の入試問題と同じ
- (7) 高等専門学校  
通学区域は全国どこでも(ただし、神戸高専は兵庫県在住者のみ)  
検査教科： 明石高専・・・5教科 神戸高専・・・国語、数学、英語の3教科  
\*高専一般 出願：〔神戸〕1月27日～31日 〔明石〕1月27日～31日  
検査日：2月16日(日) ← 両校とも  
合格発表：2月26日(水) ← 両校とも

## 4. 特別事情具申について

基本的には、全日制の課程を志願する者は、志願先高等学校の通学区域内に保護者とともに居住していなければいけません。しかし、特別な事情がある場合については、定められた手続きを行い、認められれば受検が可能になります。

### ○ 特別事情についての内容

- ① 保護者ととともに転居し、転居先の学区内の公立高等学校を受検する場合
- ② 保護者と別居しており、転居により同居し、保護者が居住する学区の公立高校を受検する場合
- ③ 家庭の事情等のため、本人の親族のもとに居住し通学をしている者が、その学区内の公立高校を受検する場合
- ④ 養子縁組により、現在居住し通学している学区以外の公立高校を受検する場合
- ⑤ ①～④に当てはまらない場合

(事務手続き期間) 1月15日(水)～2月25日(火)

※ 推薦・特色選抜志願者の場合は 1月15日(水)～2月3日(月)

※ ⑤の場合、志願先の学校長に問い合わせを行い、どのような書類が必要なのかを確認する必要があるため、12月中に準備が必要になります。

兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱より

4130 高等学校長及び・・・(中略)

なお、これらの通学区域に関する規則に違反した場合は、高等学校長はその生徒の入学を取り消すものとする。また、高等学校入学後一家転住等で他学区へ移った場合は、転居先学区内の高等学校へ転校の手続きを取らせなければならない。

### 必要書類の例

- ・転居先住所の表示がある公共料金(ガス、水道、電気等)の領収書…3か月以内のもの
  - ・転居先及び令和2年4月7日までに転居できることを証明する書類
  - ・親族等の同居承諾書
  - ・固定資産税納付書または家屋の登記事項証明書
  - ・中学校長が家庭事情等を説明する副申書
- など、①～⑤のどれに当てはまるのかによって、必要書類は異なります。

転居等のため、県外公立または第2学区以外の普通科等を受検予定の方は早めに担任にご相談ください。(必ず、当該県の公立高校入試選抜要項を入手してください)

## § 2 私立高等学校の入試について

### 1. 学校ごとに特色があります

- ① 共学か別学か（近年共学校が増えている）
- ② 大学までの一貫教育、宗教に根ざす教育など、独自の教育課程をもつ学校がある。
- ③ コースや授業時数など、学校ごとに特色がはっきりとしている。  
土曜日授業や、7校時8校時授業、20時まで自習室解放・・・など。
- ④ ある特定の教科を重視する場合や、1教科が特別に低い場合、合計点が高くても不合格になる場合がある。
- ⑤ 人物重視の傾向が強い。（当日の面接、調査書、試験時や休み時間の様子、服装等）  
得点が高くても面接や試験中の態度、服装等で見苦しいことがあれば、得点にかかわらず不合格にしている学校が最近増えてきている。
- ⑥ 1.5次試験や2次試験を実施している学校がある。（ただし、少数で難易度も高い）
- ⑦ 私立高校の合否については、併願よりも専願の方が有利になる場合が多い。
- ⑧ 専願で受験した者は、他校を受験できない。ただし、専願で不合格になった場合は受験できる。（日程が違う場合でも、専願の重複出願や受験辞退はできない。）
- ⑨ 成績優秀者に対しては、学費や入学金が免除される学校が増えている。
- ⑩ 英検や漢検など、検定試験の資格を持っていると、有利になる学校が増えている。（英検3級取得で当日のテストの点が取れなくても60点に読み換えてもらえるなど。）
- ⑪ 2020年4月より、私立高校に通う生徒の「就学支援金」の上限額の引き上げなどの制度改正が行われます。まだ、正しい金額は発表されていませんが、上限額は40万円くらいであると聞いています。

### 2. 試験日

2月10日(月)～11日(火) 兵庫県と大阪府の試験日は統一されています。

### 3. 選抜方法

- ① テスト・・・各高等学校で作成。教科は学校によって異なる。
  - ② 面接・・・多くの高等学校で実施。（服装、受け答え、意欲、マナーが問われる。）
  - ③ 調査書・・・中学校での成績、特別活動、部活動、出席状況、行動所見など。
  - ④ その他・・・一部の高等学校では実技テストを行う場合もある。
- ※ スポーツ推薦などで、部活や校外クラブなど顧問の先生や指導者を通じて話が合ったときには、必ず学級担任に連絡してください。  
（進路に関する手続きは、あくまで学校間で行われます。先方の高等学校から中学校に連絡がない状態で、スポーツ推薦の話が進むことはありません。）

### 4. 専願受験と併願受験

- 専願**・・・合格したら必ず入学する（第1希望）  
**併願**・・・先に私立を受験するが、合格しても後から受検した公立高校に合格すれば公立へ、不合格の場合は合格している私立へ入学する。
- ※ 入学手続きの締切日が、専願と併願で異なるので注意する。  
専願…合格発表後すぐ 併願…公立の合格発表後すぐ
- ※ 私立を併願しても、公立高校の合否に影響が出ることはありません。  
※ 併願校に合格していても、公立に合格した場合は、必ず公立高校にいかなければいけません。  
※ 私立専願＋公立推薦、私立専願＋私立専願(他県)は、日程が異なっていたとしても出願できません。  
※ 大阪教育大学附属と私立は試験日が同じです。

## 5. 併願をしないで公立を受検する場合

(合格した場合) 合格した公立高校へ入学する。

(不合格の場合) 次の選択肢のいずれかを選択する。

- ① 私学の2次募集を受検する ← 実施している学校が少なく、難易度も高い。
- ② 定時制の再募集を受検する ← 近くの定時制は数少ない。  
阪神昆陽などの多部制は、全日制と同じ受験日なので受験できない。
- ③ 通信制の学校を受検する ← 自分のペースで学習を進めることができる  
反面、1人で取り組む課題も多いので続かない人も多い。
- ④ 専修学校の再募集 ← 丁寧な教育が期待できるが、学費が私学と同程度かかる。
- ⑤ 来年過年度生として受検する ← 過年度生を認めていない学校は受検できない。

①～⑤のいずれにおいても、自分の希望とは大きく異なる進路選択を強いられることになります。私立の受験料は約2万円で、公立の可否にも影響はなく、公立に合格すれば学費を納める必要もありません。また、2月10日の私学入試に向けて、早い段階で受験を意識できることや、受験の雰囲気慣れ、落ち着いた状態で公立の学力検査に臨むことができるという意味でも、公立専願の方には、私立を併願することをお願ひします。

## § 3 専修学校について

四年制の通信制高校を普通高校と同じ三年間で卒業することが可能になり、経理や事務部門の各種学校とが一緒になった高等専修学校などがあります。資格は、高等学校卒業(通信制高校卒)になります。

例. 西宮甲英高等学院、クラーク国際高等学校、育成調理師専門学校 など

## § 4 就職について (ハローワークを通す場合)

- 1 1月～ 職場相談 (保護者の出席が原則)
- 1 2月～ 職場見学
- 1 月上旬 応募希望表提出
- 1 月中旬 職業相談・志望先決定
- 1 月下旬 書類作成・応募表提出
- 2 月中旬 選考テスト
- 2 月下旬 就職説明会
- 3 月中旬 入社手続き

ハローワークを通して就職先を探す場合は、特に「学校生活がきちんと送れている」ということが前提条件になります。昨年中卒の求人は阪神間では数名あったと聞いていますが、伊丹では0が続いています。かなり厳しい状況です。「勉強しなくても良いから・・・」という安易な気持ちで就職を選択しないようにしてください。高校進学より難しいとお考えください。

# おわりに

～3年生保護者の方々へ『お願い・確認』～

- ① 予備懇談・三者懇談に向けて、親子で話し合い、具体的な目標を決めてください。
- ② 出願書類が、私立高校の説明会等で配付されますので入手し、熟読してください。
- ③ 書類記入の際には、書き方の注意事項をよく読み、丁寧な記入をお願いします。
- ④ 提出物は、余裕をもって提出し、締め切り厳守にご協力ください。
- ⑤ 最終決定は12月三者懇談で行います。それ以後の変更はありません。

私たち西中学校の教職員は、全ての生徒たちの進路実現のために、学習指導や生活指導等に日々取り組んでおります。今後、生徒たちの進路を実現していくためには、保護者の皆様のご協力が必要になります。不明な点、心配なことなどありましたら、窓口となる担任まで何でもお知らせください。進路対策委員会（校長・教頭・学年団）としても対応させていただきます。

生徒一人ひとりの進路実現のために、安心・安定して生活できるような学習環境、家庭環境を、保護者の皆様と共に整えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

## 〔当面のおもな進路の予定〕

- 10月28日（月）第2回実力テスト
- 11月 7日（木）予備懇談会1日目
- 8日（金）予備懇談会2日目
- 9日（月）予備懇談会3日目
- 12日（火）予備懇談会4日目
- 13日（水）予備懇談会5日目
- 14日（木）3年期末テスト1日目
- 15日（金）3年期末テスト2日目
- 25日（月）第4回進路希望調査  
提出〆切り これが最終です。
- 12月 9日（月）三者懇談1日目
- 10日（火）三者懇談2日目
- 11日（水）三者懇談3日目
- 12日（木）三者懇談4日目
- 13日（金）三者懇談5日目
- \* 進路最終確認票提出

### 〔生徒の動き〕

\* 11月後半～1月

面接の練習

〔学活・総合の時間など〕

\* 12月中旬

推薦・特色・多部I期受検者  
小論文（作文）・実技等の練習

\* 1月以降

出願書類作成

私立高校出願

\* 入試過去問など練習